

平成30年度 さいたま市立三橋中学校 学校だより

第9号



# 架け橋

(平成30年11月30日発行)

ホームページ: <http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail: [mihashi-j@saitama-city.ed.jp](mailto:mihashi-j@saitama-city.ed.jp)

学校教育目標 : ゆたかに・かしこく・たくましく

## 努力の水

校長 永岡 良規

立冬から3週間。暦の上では冬に入っているというのに、コートが必要な季節がなかなか訪れません。寒いのが苦手な私にとってはうれしいことでもあります。四季をもつ日本のよさが失われ始めているのかと思うと少し不安な気持ちにもなります。

11月は全校三者面談がありました。個別の面談を通して、残り少ない今学期の生活に少しでも改善が図られることを期待したいと思います。

ところで、恒例の3年生の校長面接が始まりました。多くの生徒が緊張した面持ちで受け答えをしますが、どの生徒も素直に自分の考えや思いをしっかりと伝えようとしてくれています。その中で、「勉強しているけれどなかなか成績が上がりません。」「努力しているのに成績が下がってしまいました。」と不安を訴える生徒も少なくありません。

私は過去に「努力を続けることは中が見えないコップに少しずつ水を注いでいるようなものだ。その過程ではコップにどれだけ水が注がれたかを見ることはできない。水を注いで、注いで、注ぎ続けてコップから水が溢れ始めた時に初めて水がいっぱいになったとわかる。」と教えられたことがあります。つまり、努力を続けている過程では努力が結果に結びつくことはない。コップから水が溢れるくらいまで努力したときが結果に結びつくときだと。さらにその人は「しかし、残念なことに頑張り続けているのに結果が出ないからと言って、途中であきらめてしまう人が多いんだ。もう少しで結果に結びついたかもしれないのに。」と続けました。

「継続は力なり」とよく言われます。しかし、それを実践するのは決して容易なことではありません。しかし、努力をしているのならばそれを無駄にしないためにも、もう少し頑張り続けてみませんか。受験が大きな目標になっている3年生。ぜひ、コップに水を注ぎ続けてみてください。もう少しで水が溢れ始めると信じて！